

## 建設パートナーの声

### 無事故・無災害で工事完遂！

弊社は、大塚化学株式会社殿徳島工場で、最先端触媒によるポリマー製造プラント新設工事（2014年4月竣工）に建設パートナーとして参加させていただきました。今回は、経験の少ない化学プラント分野でありましたので、住友ケミカルエンジニアリング殿（以下、SCECと略記）のご指導の下、プラント建屋の建設工事に従事しました。

SCEC殿は、「安全衛生は協力会社と一体である。」との安全活動の基本方針を掲げられ、工事会社への働きかけが活発で、また示唆に富む活動を展開されていました。弊社は、SCEC殿のご指導をいただき、次のような安全活動の取り組みに注力しました。

- ① 安全管理は工事での品質管理の基盤でもあり、両者の無事故・無災害達成を目指し、リスクアセスメントの確実な実施とデイリー・ミーティング及び工程会議での日々の工事のリスクとその対処方法の確実な確認
- ② 作業開始直前に現場で行う実践KY（危険予知）活動及び安全パトロールを中心とした現場での安全活動
- ③ ヒヤリ・ハット事例の吸上げ活動とその水平展開による再発防止への取り組み

弊社では「ヒヤリ・ハットの指摘及びその水平展開」には過去に経験がなく、特に強いインパクトを感じました。プラント工事では、いろいろな業種の作業者が混在する環境の中、高いリスクの上下作業や狭い工事区域内での作業への安全管理が常に要求されます。今回、このヒヤリ・ハットの吸上げが非常に有効な安全管理手段であると感じ、積極的に取り組み、この活動の完成へとSCEC殿に指導していただきました。精力的にヒヤリ・ハット活動を展開した結果、その効果を実感しています。

今回の工事経験を踏まえて、弊社では全部署においてヒヤリ・ハット吸上げ活動を推進しております。ヒヤリ・ハットの報告を義務・習慣づけ、事例の収集・原因の分析等PDCAサイクルを回して、安全管理のワンランク・レベルアップを目指していきたくと思います。また、最近では、SCEC殿の親会社である住友化学殿愛媛工場で開催されている安全体感研修に弊社も参加させて頂き、安全意識の高揚を目指し、危険に対する感受性アップに取り組んでいます。

工事完了後半年が経過しましたが、弊社建築部の作業所では、それ以後、無事故・無災害を継続できています。SCEC殿との工事協業を通じて経験できた安全活動がきっかけとなり、「ヒヤリ・ハット活動」が弊社の安全管理活動「安全第一」の柱に育ちました。

この貴重な経験を生かし、信頼される建設パートナーを目指して事業を進めてまいります。ご指導、ありがとうございました。

平成26年10月  
株式会社 亀井組